



大漁

朝焼け小焼けだ
たいりよう

大漁だ

大羽鰻の
おおばいわし

大漁だ。

浜はまつりの
はま

ようだけど

海のなかでは

何万の
なんまん

鰻のつわひ
いわし

するだそう。

詩の出典は「金子みすゞ童謡全集」(JULA 出版局)より

■金子 みすゞ (かねこ みすず) 1903年-1930年

本名、金子 テル。山口県大津郡仙崎村 (今の長門市) に生まれる。大正末期から昭和初期にかけてすぐれた童謡詩を発表し、西條八十からは「若き童謡詩人の中の巨星」とまで称賛されながら、26歳の若さで世を去った。童謡詩人・矢崎節夫の長年の努力によって512編の遺稿が見つかり没後50余年を経て全集として出版された。2003年、生誕100年を記念して長門市立「金子みすゞ記念館」が開館。全国から多くのファンが訪れ、感動を新たにしている。

■ちひろ (歌手・作曲家・ラジオパーソナリティー)



童謡詩人金子みすゞの詩に作曲し、全国各地や海外にて歌い語る公演活動を行い15年目を迎える。小学校や高等学校の校歌、CMソングなども制作。金子みすゞと同郷の山口県出身。

パーソナリティを担当したエフエム山口特別番組「こだまでしょうか〜今、金子みすゞの心を聴きたい〜」が第7回日本放送文化大賞ラジオ部門準グランプリを受賞。KRY山口放送ラジオ「ちひろDEブレイク」でラジオパーソナリティを務めて12年になる。

(radiko.jpでも全国放送中)。

2016年、広島東洋カープの公式試合(マツダスタジアム)にて国歌斉唱を務めた。

【会場 (妙光寺) へのアクセス】

JR巻駅からバスで30分、新潟市中心部よりR402経由、車で約40分。(新潟市西蒲区角田浜1056)

